

# 2023年7月28日 第3439回例会

ガバナー公式訪問

於： 横須賀商工会議所



- <点鐘・開会> 12:30 藤村 会長  
<斉唱> 「我等の生業」  
<ゲスト紹介> \*国際ロータリー第2780地区 ガバナー 田島 敏久 様  
\*国際ロータリー第2780地区 第1グループAG 岡田 英城 様  
<ビジター紹介> \*相模原かめりあロータリークラブ 小牧 直樹 様  
<退会挨拶> \*猿丸 新二 会員

6年間お世話になりありがとうございました。この度、今年の11月に開業する羽田のホテルに異動することになりました。横須賀ロータリークラブで6年間培ってきた経験を糧に、羽田というホテル激戦のマーケットで頑張っていきたいと思っています。羽田ランプを下りて、左手に100mほどの所に建設中ですが、開業後、お近くへお越しの際は是非ともお立ち寄り頂きたく存じます。

暑い日々が続いていますが、会員の皆様のご健勝と横須賀ロータリークラブの益々のご発展を祈念いたしまして退会のご挨拶とさせていただきます。

本当に6年間ありがとうございました、

- <会長報告> \*ガバナー事務所から  
・米山奨学セミナー/世話クラブカウンセラー・クラブ米山担当者研修会のお知らせについて

日時：8月20日(日) 14時～17時

場所：第一相澤ビル8階

- <委員長報告> \*ロータリー情報・研修委員会 田邊委員長から新会員(入会3年以内)のための情報セミナー開催のご案内について

日時：9月27日(水) 17時30分～

会場：三春町「甲羅本店」

対象者は入会3年以内の会員で、この会員の為の情報セミナー。他のクラブではなかなか聴くことのできない当クラブ会員小沢PGの貴重な講演を拝聴し、その後出席者による懇親を深めたいと思っている。是非多くの対象会員に出席願いたく、早めではあるがご案内した。対象会員へは事務局からもご案内する。

- <幹事報告> \*クラブ活動計画書の訂正について  
・本日配付した週報に、訂正した箇所のページ1枚を挟み込んである。ペーシでいうと42・3ページで、差し替えをお願いしたい。また、訂正版にも誤りがあり、福西会員を福島と誤記しているので訂正願いたい。

\*田島ガバナーとの懇談会について

・例会終了後、当会場で開催する。

\*事務局の夏季休暇について 8月8日(火)から8月15日(火)まで

- <出席報告> \*出席委員会 曾我委員長から7月28日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
120名	108名	79名(4名)	29名	3名	75.93%

メイクアップ：植田会員 地区財団セミナー出席 小山(陽)会員 地区IA委員会出席  
濱田会員 理事役員会出席

- <ニコニコ報告>

・岡田英城第1グループガバナー補佐 国際ロータリー第2780地区田島ガバナー、横須賀RC公式訪問にお越し頂き大変ありがとうございます。よろしく願い申し上げます。

- ・三 役 国際ロータリー第2780地区ガバナー田島敏久様ようこそ横須賀ロータリークラブへお越しくございました。公式訪問どうぞよろしくお願ひいたします。
- ・八 木、八 卷、児 玉、田 邊、小林 (-)、北 村、椿、大 石、梁 井、  
荊 山、長 島、永 井、加藤 勲、福 西、小 澤、勝 間、新倉 健、長 尾、  
小 沢、小 平、前 川、小佐野、南、畑、上 林、佐久間、江 沢、田 村、  
若麻績、瀬 戸、徳 永、鈴木 勲、澤 田、杉 浦、土 田、中村 備、前 田、  
二 瓶、齋藤 健、松本 明、野 坂、杵 渕、小山 健 各会員  
国際ロータリー第2780地区ガバナー田島敏久様ようこそ横須賀ロータリークラブへお越しくございました。公式訪問を大変楽しみにしておりました。どうぞよろしくお願ひいたします。
- ・岡田英城第1グループガバナー補佐 相模原かめりあロータリークラブ小牧会員ようこそお越し頂きました。いつもお世話になっております。
- ・三 役 相模原かめりあロータリークラブ小牧会員ようこそ横須賀ロータリークラブへいらっしゃいました。例会をお楽しみください。
- ・小 沢、前 川、鈴木 豊 各会員 相模原かめりあロータリークラブ小牧直樹様ようこそ横須賀ロータリークラブへいらっしゃいました。例会をお楽しみください。
- ・1番テーブル田邊マスター、新倉 健 サブマスター 先日の1番テーブルミーティング、三役の皆様、テーブルメンバーの皆様ご出席ありがとうございました。小沢会員おいしい食事とチーズケーキありがとうございました。
- ・八 卷、岡田 健、渡 邊、鈴木 勲、物 井、小山 健、角 井 各会員  
7月24日(月)、甲羅本店において1番テーブルミーティングが開催されました。多くのテーブルメンバーと三役・SAA・副SAAが参加して大変華やかな会となりました。田邊マスター、新倉良是サブマスターありがとうございました。また、美味しい食事とチーズケーキをご提供いただいた小沢一彦会員ありがとうございました。
- ・谷 会員 過日のNO.1テーブルミーティングを初めて欠席しました。皆様に御迷惑をおかけしました。山手線不通による疲労の為?です。
- ・5番テーブル比護マスター、大野 健 サブマスター 7月27日(木)、甲羅にて5番テーブルミーティングを行いました。お忙しい中、藤村会長、高橋副会長、鈴木之一幹事、角井SAAと沢山のメンバーのご参加ありがとうございました。美味しい料理とお酒とお土産ケーキと小澤長幸会員お世話になりました。
- ・吉 田、長 島、永 井、小 澤、松 岡、南、渡 辺、外 木、角 井 各会員  
昨日、甲羅本店にて5番テーブルミーティングを開催致しました。美味しい料理を堪能し楽しいお食事会となりました。またお忙しい中藤村会長はじめ4役の皆様もご参加頂きありがとうございました。小澤長幸会員お土産のチーズケーキ美味しくいただきました。
- ・猿 丸 会員 6年間大変お世話になりました。羽田のホテルにも是非遊びに来てください。後任の竹株もどうぞ宜しくお願いします。
- ・高 橋 会員 三浦学苑軟式野球部2年連続で神奈川大会優勝しました。皆様のご声援に感謝します。
- ・佐久間 会員 前米山奨学生の王冠博さんが台湾の歯科医師国家試験を受験して帰って来られました。ようやく学生から卒業できた気分になったようです。自己採点では100%合格しましたと連絡がありました。
- ・木 村、石 田、長 尾、上 林、浅 葉、臼 井、Robinson、角 井 各会員  
男子バレーボール46年ぶりの銅メダルも、井上尚弥無敗での4階級制覇も慶応高校19度目の甲子園出場もどれもみんなすごかった! 感動した!

## ◇岡田ガバナー補佐

2022-2023年度国際ロータリー2780地区田島敏久ガバナーをご紹介します。田島ガバナーは1943(昭和18)年生まれで79歳になられます。所属クラブは相模原西ロータリークラブ、職業分類は産婦人科医。役職としましては慈誠会病院の院長をされております。東京慈恵会医科大学を卒業後、2001年に相模原西ロータリークラブへ入会。2014-2015年度にクラブ会長、2020-2021年度第5Bグループガバナー補佐、そして本年度ガバナーを務めていらっしゃいます。ロータリー表彰としては25万ドル(ロータリーレート1ドル=145円換算で36,250千円)以上の寄付をされているアーチ・クラumpf・ソサエティ(☞略称AKSロータリー第6代会長アーチ・クラumpf氏にちなんで名づけられた「アーチ・クラumpf・ソサエティ」は、ロータリー財団で最高に荣誉ある認証。累積で25万ドル以上を寄付した方をメンバーとして迎えている。)の会員でもあられます。それでは田島ガバナーよりしくお願いいたします。

## ◇田島ガバナー

皆さん、こんにちは。新米のガバナーでございます。就任してから3週間から4週間のフレッシュマン・ガバナーでございます。

本日の卓話は、今年1月の国際協議会でのRI会長ゴードンさんの講演動画を視聴して頂き、その後に内容を細かくお話しして終了したいと思います。

### 【ゴードンR. マッキナリーRI会長 講演動画放映】

新たに深刻な課題に直面している中でも、ロータリーは会員と世界の人びとのために動き、恒久的な平和を築くために尽力し、すべての活動にビロギング(帰属意識)とインクルージョンつまり弱者に対する思い遣りを浸透させています。だからこそ、私はロータリーの皆さんに「世界に希望を生み出そう」と呼び掛けているのです。

今年度はメンタルヘルスを支援するためのプロジェクトを優先的に行っていきます。この取り組みは、個人的にも非常に重要なものです。誰かが声も上げられずに苦しんでいるのを見守るといったのがどういうことか、私は良く知っています。また、人と人がつながり合うこと力や、心の健康と幸せについて話し合うことの価値、予防的ケアと治療がひとりの命を救い得ることをこれまで目の当たりにしてきました。

研究によると、自分の幸せを守る効果的な方法は人に親切にすることだと判明しています。そして、心の平安を得ることによって、私たちは世界に平和をもたらすことができるようになります。

ロータリーの本質は平和を築くことにあります。私たちの奉仕プロジェクトの多くは、積極的平和のための土壌作りです。障壁を乗り越え、新たなつながりを築くために、ロータリーはたゆまぬ努力を続けています。今年度は、こういった大切なつながりを強化するために、会員間のバーチャルな国際交流を促進します。

平和は夢ではなく、受身的なものでもありません。一生懸命努力し、信頼を獲得し、難しいかも知れませんが、オープンな会話をすることで得られるものです。平和は粘り強く、勇敢に実践しなければなりません。ロータリーの重点分野全体で私たちが行うありとあらゆる活動が、平和を可能にする希望を育む力を秘めています。

人とのつながりと目的意識が、あらゆるロータリー会員を奮い立たせてくれることでしょう。素晴らしいクラブ体験を提供できるようにクラブのリーダーが尽力すれば、より多くの会員を維持することができ、より多くの入会候補者がロータリーに関心を持ってくれます。これ以上なく居心地の良い、これ以上なく魅力的なクラブを築き上げましょう。

クラブの例会から奉仕活動まで、帰属意識を高めることが目標です。誰もが自分らしくいられる、包括的で居心地の良い環境を作り続ける必要があります。ありとあらゆる行動人が「ロータリーには自分の居場所がある」と思えるような場所にする必要があります。そうできるかどうかは私たち次第です。

今年度、私は多様性、公平さ、インクルージョンの取り組みに焦点を当てて、全人類により良く奉仕するために、ロータリーが奉仕するコミュニティを反映するようにし、人間の持てる才能と経験のすべてを活用

するための重要な方策を引き続き講じていきます。また、女性や女兒が兼ね備えている可能性を解き放つことを助けることによって、女性や女兒のエンパワーメントを続けていきます。

今年度の旅を共に始めるにあたって、私はスコットランドの国民的詩人ロバート・バーンズを引用したいと思います。18世紀にバーンズは、全世界が親族になり、「良識と真価を全世界に広める」ことについて語っています。これはこれまでの人生で私にとって行動への呼び掛けとなってきたもので、今皆さんと共有したいと思います。

内なる平和を築き、それをどんどん広めていきましょう。帰属意識を育て、ロータリーの未来を新たに思い描きましょう。ともに楽しく力を合わせて、世界に希望を生み出しましょう。

### 【講演動画終了】

些か緊張しておりますが、今から私の声で、日本語でお話しします。

先ほど岡田AGから紹介を受けましたが、詳しい経歴は例会プログラム記載の通りです。

私はインターン闘争（☞ インターン闘争とは、1960年代の日本において、インターン制度に不満を抱いた研修医たちによって行われた制度の廃止を訴える一連の動きを指す言葉。1946年から1968年まで、日本には国家試験を受けるために1年間の研修を受けなければならないインターン制度があった。インターン中はほぼ無給で、過労で倒れる研修医が出たほか、無資格医問題が世間で騒がれたこともあり、学生の中に不満が募り、インターン闘争に発展。学生と医局員が衝突した東大医学部紛争や、インターン生による医師国家試験のボイコット運動などが起こった。1968年、研修医の身分を保証するためにインターン制度が廃止され、現在は「臨床研修医制度」が導入されている。）の真っ只中に医科大学に入りました。そして、医師になった今はロータリーと医学界の仕事をしております。シフトとしては、医学界よりもロータリーの方をしっかりとやっているつもりでございます。

ここで本年度のゴードンR・マッキナリーRI会長をご紹介いたします。ゴードンR・マッキナリーRI会長は英国スコットランドの歯科医です。では本年度のゴードンR・マッキナリーRI会長のテーマならびに考え方をご紹介いたします。

ゴードンR・マッキナリーRI会長の方針は、「CREATE HOPE in the WORLD 世界に希望を生み出そう」であります。スピーチでも分かるように、ポイントは次の通りでございます。

2023-24年度のRI方針は、「継続と変化」であります。継続と変化、平和と希望、ローターアクトクラブと協力をする、女性エンパワーメント（☞ エンパワーメント〈empowerment〉とは一般的には、個人や集団が自らの生活への統御感を獲得し、組織的、社会的、構造に外郭的な影響を与えるようになることであると定義される。日本では能力開化や権限付与ともいう。エンパワーメントの考え方は昨今大きな広がりを見せ、保健医療福祉、教育、企業などでも用いられている。広義のエンパワーメント（湧活）とは、人びとに夢や希望を与え、勇気づけ、人が本来持っている素晴らしい、生きる力を湧き出させることと定義される。）/DEI（☞ DEI（ディー・イー・アイ）は、「Diversity（ダイバーシティ、多様性）」「Equity（エクイティ、公平性）」「Inclusion（インクルージョン、包括性）」の頭文字からなる略称。それぞれが持つ多様な個性が最大限に生きることがより高い価値創出につながる、という認識が近年広がりつつあり、DEIの取り組みが推進されている。）の促進、ポリオ根絶、行動計画の実践、メンタルヘルスであります。

ローターアクトクラブと協力。過去数年間ローターアクトに力を与えると約束し、ロータリーの全面的なパートナーとなりました。ローターアクトはリーダーとなることへの熱意を示し、私たちロータリアンを勇気づけています。ロータリークラブとローターアクトクラブが互いに協力し、支え合う新しい方法が見つけられるかどうかは、私たちロータリアンにかかっています。

女兒のエンパワーメント/DEI 促進。世界中の少女が強く、十分な能力を身につけた女性へと成長できるようサポートしたいと思います。単に、会員数を増やすことを意味する訳ではありません。女性の地位向上の一環として、役職の3割以上に女性を、また、クォータ制（☞クォータ制〈quota system〉とは、人種や性別、宗教などを基準に、一定の比率で人数を割り当てる制度のこと。クォータ（quota）とは、ラテン語に由来する英語で「割り当て、分担、取り分」などの意味。）でも良いという発想もあります。DEIの最も重要な側面は、ロータリーを、どこからであれ最高の人材、最高のアイデア、最高のパートナーシッ

プを受け入れるオープンでインクルーシブな組織にすることです。ゴードンR・マッキナリー会長は、ロータリーが平和やメンタルヘルスのために活動し、世界に希望を生み出すよう呼び掛けています。また、そのためには対話を通じて信頼を築くことが重要であると訴えております。

ロータリーの活動の原点はクラブにあります。地区ではありません。RIはロータリー活動のルール・方向性を示すことが原点であると考えられます。したがって、クラブ活動を中心としたチームを示したいと思っております。ロータリーのビジョン声明は、「私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指します。」です。

地区優先事項とは、次の4つであります。

1. 地域社会の変化とニーズを的確に捉える。2. 地域社会にインパクトをもたらす。3. 多様な人々との出会いとつながりを大事にすること。すなわちインクルーシブ。4. 積極的に行動します。となります。

次に本年度の重点目標と運営方針についてご説明いたします。重複しているところもありますが、重点目標として6項目、運営方針として9項目あります。まず重点目標をご説明いたします。

まず、重点目標ですが、1. 会員増強を強化推進すること。女性会員比率20%期待・若い世代の会員増強をすること。現在約13%の女性会員比率を20%に引き上げたいということです。女性会員が増えると男性会員も増えるので、女性会員の増強は会員増強につながります。また、若い男性会員が増えると女性会員が増えるといわれていますから、若い世代に入会を訴えることも必要です。2. ロータリー賞への積極的なチャレンジをすること。3. End Polio Nowを継続実施すること。今年に入りパキスタンで1例、アフガニスタンで5例と分かっているだけで6例の野生型ポリオ感染症が発症しています。4. My Rotary登録率を向上させること。現在の約65%を90%へ引き上げたいと思っています。これには横須賀ロータリークラブのようなビッククラブの協力が欠かせません。よろしく願いいたします。5. ロータリー財団への年次寄付/米山奨学会寄付。6. ローターアクター、青少年および米山奨学生とロータリーとの結び付きを強化することの6項目です。

次に運営方針をご説明いたします。1. RI会長・GORDON声明の戦略強調事項の推進/優先事項の実施。2. 会員増強・維持・新クラブ拡大をすること。3. 青少年の育成。4. ロータリー財団へ年次寄付をしましょう。5. 米山奨学会寄付をいたしましょう。6. ポリオ根絶の推進をいたしましょう。7. 『1 CLUB 1 PROJECT』の継続と奉仕プロジェクト支援。8. 各グループAG指導の基IM実施予定。9. クラブ戦略ビジョン策定推奨。RI会長・GORDON声明の戦略強調事項の推進。ゴードンR・マッキナリー会長は、ロータリーが平和やメンタルヘルスのために活動し、世界に希望を生み出そうと呼び掛けています。また、そのためには対話を通じて信頼を築くことが重要であると訴えております。

会員増強・維持・新クラブ拡大について申し上げます。1. 和を以って貴しとなす精神で、例会出席が楽しく、奉仕活動は積極的に地区補助金を利用する。更にグローバル補助金利用を考えることが会員維持増強につながると思っています。各クラブの目標設定は5%から7%台を期待したい。2. 女性会員の増大の期待20%台。

青少年育成については、1. インターアクト支援。更なる新しいクラブの拡大。2. ローターアクトクラブ支援・拡大協力関係を持つこと。3. 青少年交換事業の理解と応援。3年振りの事業展開を本年度再開いたしました。ロータリー財団への年次寄付をいたしましょう。奉仕活動はフットワークか寄付のいずれかで頑張りましょう。ということで、目標1. 地区年次寄付200ドル/1名。目標2. ZERO CLUB ZEROの継続と全会員寄付の達成。目標3. 恒久基金1,000ドル以上/1クラブ。目標4. 米山奨学会寄付。国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的とし、将来母国に戻り、日本との懸け橋となって頂き、ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となるように支援をいたしましょう。寄付の目標は1名で2万円以上、普通寄付と特別寄付と考えております。

1. ポリオ根絶の推進では、ポリオ根絶キャンペーン促進としまして、ポリオデーを10月25日(水)とし、2780地区でチャリティーコンサートを実施する予定でございます。大和市文化創造拠点「シリウス」の1,100名が入れる立派なホールで開催し、華麗な演奏が魅力の日本を代表するピアニストの一人で、国内はもとより海外のオーケストラとの共演を重ねるなど、国際的にも高く評価されている花房晴美さんの音楽を聴いて頂きます。チケットは2,000円くらいだと思いますので、是非聴きに行ってください。よろしくご協力のほどお願いいたします。指導はAGになります。

2. ポリオ寄附の推進では、目標10万ドル：40ドル／1名。『1CLUB 1PROJECT』の継続と奉仕といたしまして、2019-20年度のテーマ『1CLUB 1PROJECT』を継続推奨いたします。
3. 各グループAG指導の基、IMを実施いたします。各グループにおかれましてはIM実施に向けた早期企画をお願いいたします。
4. クラブ戦略ビジョン策定の推奨につきましては、各クラブでは今後5年間の中間ビジョンを策定し、それを実施するための各クラブに戦略計画委員会を立ち上げ、活動をして頂きたいと思います。

最後に基本理念についてお話いたします。私たちのモットーは「超我の奉仕」です。118年以上前から続く我々の基本理念・中核的価値観は、1. 奉仕活動、2. 親睦、3. 多様性、4. 高潔性、5. リーダーシップの5点を根幹としてきました。

我々ロータリアンは、世界の困難な問題について行動を起こす責務を超我の奉仕の精神で共有していると信じています。

最後になりますが、ロータリーは1年単位で行動しておりますが、長期的な活動を計画する戦略計画委員会等を立ち上げ、各クラブにおいて5年単位で継続する仕事をビジョンに掲げて活動することを検討して頂きたいと思います。

以上で、お話を終了させていただきます。



<閉会・点鐘> 13:30 藤村 会長

週報担当 山田 哲也